

2012 秋季高岡万葉セミナー

聖武天皇の時代 II

期日 平成24年 11月25日(日) 13:00~16:30

会場 高岡市万葉歴史館 / 講義室

受講料 ● 1,200円
※富山県生涯学習カレッジ連携講座です。
夏季高岡万葉セミナーも受講された方に10単位授与。

定員 ● 先着120名
※お申込みは電話・FAX・E-mailなどで当館まで。
※周辺に食堂がありませんので、昼食を済ませておい
てください。

■開講式 (13:00~13:10)

■第1講 13:10~14:40

聖武天皇と萬葉の和歌

かげ やま ひさ ゆき
影山 尚之 (武庫川女子大学教授・園田学園女子大学名誉教授)

平城の宮に聖武天皇が即位することがなかったら、世に萬葉集の存在はなかった。いや、東大寺も正倉院も、南都のあらゆる文化は聖武天皇に帰するといつて過言でない。貫之が「ならの帝」を称して「歌の心を知るしめしたりけむ」と記したのは、聖武への的確な評言である。そこを正しく踏まえつつ、萬葉和歌史における聖武の位置をいまいちど確かめてみたい。



■第2講 14:50~16:20

聖武天皇の時代にみる文章の特色—文体の面から—

もう り まさ もり
毛利 正守 (皇學館大学教授・大阪市立大学名誉教授)

日本人はもともと固有の文字を持たなかったことで、当初、基本的に日本語とは異なる漢文(中国語文)で記さざるを得なかった。飛鳥・奈良時代では、漢文が日本書紀等で用いられる一方で、漢文の訓読(それは話しことばそのままではないが)も行われるようになり、古事記などの倭(やまと)文体としての文章が生まれることになる。漢文体と対比しながら、聖武天皇の和歌及び宣命などをとり挙げ、具体的に倭文体の在りようを探っていく。

高岡市万葉歴史館

〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮 1-11-11
TEL: 0766-44-5511 FAX: 0766-44-7335
E-mail: manreki@office.city.takaoka.toyama.jp
http://www.manreki.com



利用のご案内

- ・開館時間 / 午前9時~午後5時(入館は午後4時15分まで)
- ・休館日 / 毎週火曜日
- ・入館料 / 一般...210円 中学生以下...無料 団体(20名以上)・65歳以上...160円

交通のご案内

- ・JR高岡駅より車で25分
- ・JR高岡駅古城公園口代替駅前広場バス乗降場4番のりばよりバスで約25分乗車
…伏木一宮下車…徒歩7分(西まわり古府循環・東まわり古府循環・西まわり伏木循環行きなど)
- ・JR水見線伏木駅より徒歩25分 ・能越自動車道高岡北ICより車で約20分

◆歴史館の最新情報、日々の出来事はこちら！

●高岡万歴日記(公式ブログ) <http://www.manreki.com/blog/> ●坂本信幸万葉日記(館長ブログ) <http://www.manreki.com/kancho/>
●Twitter 家持くん @manreki いけぬし君 @ikenushi おおいらつめちゃん @oiratsume 万葉人・高岡市万葉歴史館館長 @akahitomusimaro